

## パレスチナ・イスラエル紛争の平和的解決を求める決議

パレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスとイスラエルとの武力紛争は大きな犠牲が出ており、イスラエル軍は病院にまで攻撃を加え、子どもたちを含めた一般市民に多数の死傷者が発生するなど、深刻さを増している。

こうした状況を受け、国連総会では、10月27日に人道的休戦を求める決議が採択され、さらに国連安全保障理事会は、11月15日に十分な日数の人道的な戦闘休止と回廊設置を求める決議を採択した。

戦争による惨禍が二度と起きないように世界平和の実現を誓い、平和都市焼津宣言をしている当市の議会としても容認することはできない。

よって、焼津市議会は、ハマスとイスラエルの紛争に対し、全ての当事者が国際法に従い、早急に戦闘行為を停止し、事態を平和的に解決することを強く求める。

以上、決議する。

令和5年12月6日提出

焼津市議会議長	石田江利子	焼津市議会議員	内田修司
焼津市議会副議長	増井好典	同	河合一也
焼津市議会議員	四之宮慎一	同	村松幸昌
同	鈴木まゆみ	同	川島要
同	井出哲哉	同	杉田源太郎
同	藤岡雅哉	同	岡田光正
同	村田正春	同	秋山博子
同	原崎洋一	同	池谷和正
同	吉田昇一	同	鈴木浩己
同	奥川清孝	同	深田ゆり子
同	石原孝之		